

校長コラム① コロナ禍の部活動

令和3年度もコロナ禍に不安を抱えながら毎日を過ごしています。

本校では、年度当初から3年生の修学旅行中止や2年生の修学旅行変更はじめ、さまざまな教育活動の変更等を断続的に行う状態が続いています。

さて、今年度の高校総体予選は、弓道部女子個人2名、体操部男子団体、同女子団体、ラグビー部10人制で県大会に出場できました。今後大会が続く生徒もおりますが、3年生にとって大きな節目となりました。なかには卒業後も大学などで競技を続ける希望を持っている生徒もおり、高校での部活動が生き甲斐を一つ生み出したと思います。これからの素晴らしい経験と活躍を心から祈っています。

ゴールデンウィーク中、野球部は連日、他校へ練習試合に出かけていました。一宮南高校のグラウンドには「教育の原点」ともいえる教えの言葉が掲示されていたので一部を紹介します。中村高校の生徒の皆さんにも、このような生活行動に努めてくれることを願っています。

「信頼」：「信用」の積み重ね

「信頼」：過去の業績を評価した上で、未来の行動を期待すること

「高校球児」としての自覚より、「高校生」としての自覚。

「高校生」としての自覚より、「人間」としての自覚。

まず人間として果たすべきこと

☞高校生として果たすべきこと

☞高校球児として果たすべきこと



